

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立青少年センター	所管課	社会教育課
所在地	甲府市川田町517	設置年月日 (改築年月日等)	昭和45年12月1日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県青少年協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年センター設置及び管理条例		
設置目的	青少年に自主的かつ創造的な活動、交流等の場を、青少年を指導する者に研修の場を提供することにより青少年の健全な育成を図るとともに、勤労者に研修、交流等の場を提供することによりその福祉の増進に資するため。		
主な施設内容 (定員等)	・本館：第1研修室(72人)、第1会議室(24人)、第2会議室(45人)、第3会議室(24人)、第4会議室(12人)、第1・第2和室(各5人)、運動場、テニスコート、宿泊施設、食堂、事務室、書庫兼会議室、青少年相談室、体育館、プール(25m x 15m、7コース) ・別館：音楽室、団体事務室、団体交流室、多目的ホール ・リバース和戸館：第5会議室(18人)、第6会議室(18人)、第7会議室(25人)、第2研修室(50人)、第3研修室(30人)、第4研修室(30人)、第3和室(30人)、視聴覚室(48人)、体育館、トレーニング室		
主な業務内容	施設の利用承認等に関する業務 施設管理に係る業務 青少年健全育成等に関する業務 防災等に係る業務 管理運営に必要な業務 施設及び設備の維持管理業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合)、小瀬スポーツ公園、緑が丘スポーツ公園
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	利用者数	271,252	288,025	248,126	
	利用者数合計	271,252	288,025	248,126	
	目標値	289,000	289,000	289,000	288,461
	目標値設定の考え方	前年度、目標値を2,900人ほど下まわったが、当年度は、目標を達成すべく、前年度と同様の数値目標とした。	前年度、目標値を17,700人ほど下まわったが、当年度は、目標を達成すべく、前年度と同様の数値目標とした。	前年度、目標値まで1,000人足らずとなったので、当年度も前年度と同様の数値目標とした。	過去5年間の実績最大値である平成24年度実績値に平均上昇率を乗じて、指定管理期間最終年度の目標とした。
	対23年度比	100.0%	106.2%	91.5%	106.3%
稼働率		43.4%	47.6%	44.0%	

## 4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	22,003,940	22,769,000	20,935,540	22,356,000
	指定管理者委託料	103,427,000	102,258,000	102,258,000	107,180,000
	その他	16,928,241	37,930,000	31,024,939	24,034,000
	収入合計(A)	142,359,181	162,957,000	154,218,479	153,570,000
支出	人件費	74,819,458	91,843,000	79,802,168	78,358,000
	県への納付金				
	管理運営費	66,695,192	71,114,000	65,817,295	75,212,000
	(うち外部委託費)(B)	19,701,831	22,012,000	17,032,724	19,489,000
	支出合計(C)	141,514,650	162,957,000	145,619,463	153,570,000
収支差額(A - C)		844,531	0	8,599,016	0
外部委託比率(B ÷ C)		13.9%	13.5%	11.7%	12.7%
利用者一人当りの経費		358	354	412	372

## 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成25年4月～26年3月、実施方法:利用者へのアンケート 回答数:1,957人
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
利用日、利用時間	99.5%	0.0%	0.5%	0.0%
利用料金	99.2%	0.0%	0.8%	0.0%
申し込み方法	99.8%	0.0%	0.2%	0.0%
設備の状況	97.2%	0.0%	2.8%	0.0%
職員の接客態度	99.8%	0.0%	0.2%	0.0%
各項目の平均	99.1%	0.0%	0.9%	0.0%

利用者の意見	1 空調の効きが悪い(リバース和戸)。 2 多目的ホールに大きい鏡があればうれしい。 3 リバース和戸は入口から階段が多く(第3研修室)、エレベーターがあるととても有難いと思います。車椅子の方も特に入るので(視聴覚室)。
利用者の意見への対応	1 リバース和戸の冷房に関しては、業者にも能力の向上を求めたが、猛暑であったため、機械性能の限界を越え、冷やすことが出来ず、利用者に変な不快感をさせてしまった。今後県と協議し、対応を図っていく。 2 現状、鏡の設置は考えていないが、安全性などを考えて可動式のものの導入を検討していく。 3 リバース和戸の入口にはスロープがあるが、2階への移動は階段しかない。ご予約の際にリバース館ではなく、エレベーターのある本館の利用をすすめるよう、徹底していく。また、リバース館利用者の荷物の搬入・搬出など、お手伝いをしていくよう徹底する。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法規に定めのないものについては、安全性をより重視して日常点検・月次点検・定期点検を職員が実施した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に業務執行されている。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に業務が運営されている。今後も創意工夫を凝らし、利用者の増加やサービスの向上に努めること。
自主事業	計画どおり各事業を実施することができた。	全体的に、計画どおり適正に実施されている。
利用状況	<p>・体育施設の利用は、競技会利用が減少したこと、サークルが小規模になり、体育施設から多目的ホールへ会場を移動する団体が増えた傾向があることから、特に、大人の利用数が減少となった。小中高校生の利用については変化なし。</p> <p>・会議施設の利用は、上記と関連し、体育施設利用団体の一部が、多目的ホールを選択し、同ホールの予約が一日のうちの一部の利用が増え、講演会・セミナー等の大規模な団体の終日利用ができなくなったため、同ホールの利用人数が減少となった。</p> <p>・事業参加者については、主催・自主事業合計では微増となった。</p>	<p>・利用者が減少している施設については、十分に会議で検討し、最善の方法を実行していくとともに、効果的なPR活動等を行い、利用者数の増加を図ること。</p> <p>・事業参加者を増加・確保するため、内容の工夫、広報活動の工夫を図ること。</p>
収支状況	<p>・体育施設の利用は、競技会利用と大人の利用が減少した事により、利用料金収入が減少した。</p> <p>・会議施設については、リバース和戸での第7会議室、第3和室の利用が大きく減少した。この2部屋については、用途が限定的であることと、金額がやや高いため安価な会場に移動したことが原因と推測される。</p>	<p>・利用者に満足いただき、再利用されるよう、一層のサービス向上及びPRに努めること。</p> <p>・利用料金収入が減少した部分について十分に分析・検討し、職員一同が共通認識を持ち、現状を把握し、常に改善のために努力と工夫をしていくこと。</p>
利用者満足度	利用者アンケートでの要望について館長、副館長、課長による会議を毎月行い、対応を検討し、実施できるものについては早急に実施した。	利用者アンケートについては、定期報告書により毎月報告されている。引き続き、アンケートをもとに、施設設備や業務の改善を図り、県民のニーズの把握に努め、管理運営に反映させること。
運営目標の達成状況	<p>大雪の影響等があり、開館日数が減少したため、利用者数、稼働率共に前年度を下回った。また、施設広報について、部分的ではあるが、宿泊室の空き状況をホームページに開示したことにより、宿泊室の稼働率が微増したものと思われる。事業については、事業数が多いため、一部開催時期が重なっているものを見直し、来年度からは自主事業として利用者拡大・サークル支援等を行うなどし、利用者数・稼働率を上げていきたい。</p> <p>その他、施設維持管理など、適正に行うことができた。今後も、職員による定期点検を継続すると共に利用者の声に耳を傾け、迅速な対応をしていく。</p>	

<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本協定書や業務計画書に基づき、適正に管理運営されている。また、県民のニーズに合わせた自主事業、主催事業を実施するなど、利用者拡大に努めている。</li> <li>・利用者の満足度は概ね良好であるが、アンケートなどの利用者の声に耳を傾け、更なる施設稼働率の向上と利用者数の増加を図る取り組みを期待する。</li> <li>・施設の老朽化が進んでいるので、利用者が安全快適に利用できるように、施設設備の日常の保守・点検を行い、不具合がないように迅速に対応すること。</li> </ul>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民のニーズに応えられる魅力ある事業を展開していけるよう、参加者アンケート等をもとに、事業の見直しを行い、改善していく。</li> <li>・来年度は、利用者数・稼働率向上を図るため、自主事業として「利用者拡大事業」「サークル支援事業」を行い、大学・企業等への施設利用を案内するなどしていく。稼働率の低い部屋については、利用プランのようなものを提案し、利用者ニーズに適した案内をしていく。</li> <li>・施設管理についても、定期的に行っている施設点検、修繕により、施設を安全かつ快適に利用していただけるよう、適切に維持管理をしていく。</li> </ul>

7 管理体制(組織図)

